

〈はじめに〉

動物園を訪れ、実際に生きている動物を観察したことにより得た体験を、小学校教育で役立てていただけるよう作成されたのが、このワークシートです。人間の他にも様々な動物たちが生きていること、みんなが同じ地球上の仲間であり、お互いに関わり合って生きていることを実感するには、まず個体レベルでの動物の理解が必要です。そこで今回は鳥たちのしぐさや行動と、それが意味するものについて取り上げました。

野毛山動物園で動物を観察される際に、飼育係員を見かけましたらお気軽に声をおかけ下さい。動物たちのとっておきの話を、お聞かせできるかもしれません。このワークシートが児童の知的好奇心をくすぐり、動物に興味を持つきっかけになればと願っています。

〈今回のねらい〉

鳥たちの見せるしぐさや行動には、ひとつひとつ意味があります。飼育されている鳥では、野生の行動が見られないこともあります。それでも本来の行動を色濃く残していることも多くあります。ワークシートを活用して鳥のしぐさや行動を観察することで、そこから見えてくる鳥の生態に気づくことをねらいとしています。

〈解説〉

今回取り上げた鳥たちの野生での暮らしと、動物園で見られる行動について解説しました。児童たちが観察した行動の説明にお役立て下さい。

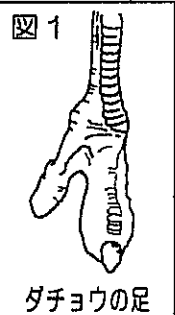
①ダチョウ

◇分類：ダチョウ目 ダチョウ科 ◇生息地：アフリカ

◇野生での暮らし：半砂漠やサバンナに暮らし、草、種、葉、花などを食べています。体重は100kg以上、背の高さは2~2.5mにもなる世界最大の鳥です。翼はありますが飛ぶことはできません。その代わりに、時速50kmの速さで走り続けることができる強力な足を持っています。繁殖期にはオスはしゃがみこんで翼を広げ、同時に首を8の字を描くように動かしてメスに求愛ダンスをします。オスが地面に浅く掘ったくぼみにメスたちが卵を産みます。卵は1.4~1.8kgもあります。オスは夜、メスは昼に卵を抱いて温めます。孵化したヒナは、すぐに歩くことができ、親と同じものを食べることができます。生後9ヶ月間ほどは親がつれて面倒を見ます。

◇動物園で見られる行動：運動場を歩いたり、翼を軽く広げて走ったりします。地面に座り込み休息しますが、長い首は眠るときもほとんど起こしたままです。大きなくちばしで食べ物や小石をついばみ、すくうようにして少しずつ水を飲みます。口を開いて、「カハーッ」という音を出し、威嚇することもあります。羽づくろいや、求愛ダンスも見られます。

□メモなぜ2本指？：先祖は5本指でしたが、大きな体を支えて速く走れるように2本指になりました(図1)。爪の生えた太く幅広い指は底がクッションのようになっていて、衝撃を和らげ、地面を強く蹴って走ることができます。もう一本の小さい指はバランスをとる役目をします。



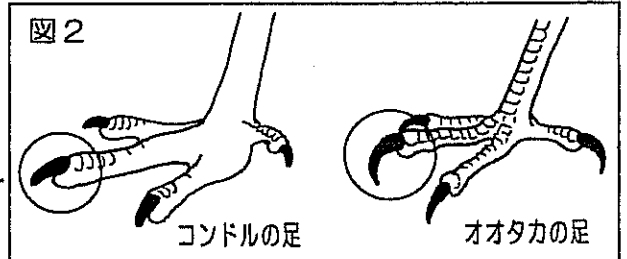
ダチョウの足

□メモなぜ小石を飲み込む？：胃の中で植物せんいをすりつぶして、消化を助ける役目をしています。

②コンドル

◇分類：ワシタカ目 コンドル科 ◇生息地：南米のアンデス山系

◇野生での暮らし：コンドル(別名オオコンドル、アンデスコンドル)は標高数千メートルの高地に暮らしています。体重は8~14kg、翼を広げると3m以上にもなります。体が重いため、地面から直接飛び立つことは苦手です。上昇気流を利用して大きな翼で帆翔します。食べ物は死んだ動物です。足指で物をつかむ力は弱く、爪も鋭くありません(図2)。くちばしで皮や肉、内臓を引き裂いて食べます。



コンドルの足

オオタカの足

コンドルは崖の岩穴の巣に卵を産み、オスとメスが交代で卵を抱いて温めます。ヒナがかえると、親は半分消化された肉を吐き戻して与えて育てます。

◇動物園で見られる行動：岩山の上にいることが多く、翼をひろげて日光浴する姿がよく見られます。プールにはいって水浴びもします。眠るときには首を縮めたり、翼の付け根にくちばしを入れたりします。岩穴の中で眠ることもあります。岩山の上からゆっくり羽ばたきながら、地面に舞い降りてきますが、上に戻る時は歩いて上っていきます。首を地面にこすりつける誇示ディスプレイや、翼をコの字型に広げて足踏みする求愛ディスプレイも見られます。

【一口メモ】コンドルは寿命の長い鳥です。野毛山動物園にいるアンディーは48才以上。大人になるのにも時間がかかり、茶色い若者の羽から黒と白の大人の羽に生え替わるに6年、卵を産むのはさらに数年先です。

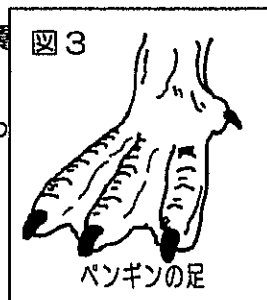
③フンボルトペンギン

◇分類：ペンギン目 ペンギン科

◇生息地：ペルーからチリの太平洋岸

◇野生での暮らし：昼間カタクチイワシの仲間やアジなどの小さな魚を捕り、夜間は陸地で過ごします。浅い潜水をしながらグループで魚を捕らえます。繁殖は岩の多い海岸で行われ、海岸の洞窟や海鳥などの糞でできた地層（グアノ）を掘って巣を作ります。時には地面にも巣を作ります。ペンギンの羽毛には冷たい海水が直接皮膚に触れないようにするはたらきがあります。年に1回の体中の羽毛がはえかわる期間は海に入ることができないので、魚を捕りに行けません。

◇動物園で見られる行動：1日中プールで泳いでいるのを見ることが出来ます。翼ではばたくようにして水中をすすみます。足には水かきはありますが(図3)、バタ足はせず、舵の役割をしています。陸では二本足で立って歩き、腹這いになって休んでいたりと、くちばしを上に向けて鳴いている姿もよく見ることが出来ます。朝夕にはプールの中で、アジを頭から飲み込んでいるところを見ることが出来るかもしれません。



④インドクジャク

◇分類：キジ目 キジ科

◇生息地：インド・パキスタン・バングラデシュ・ネパール・スリランカ

◇野生での暮らし：日中は開けた草原などの地上で生活し、夜は木の枝など高いところで眠ります。草や種子、昆虫などを食べます。1年の大半を小さな群あるいは家族で過ごします。しかし、オスは繁殖期になると単独で過ごすようになり、面積は小さいがなわばりを持ちます。日中は、なわばり内を歩き回るか、木陰などで休息していますが、朝夕はメスに対して求愛行動をします。尾羽に見える長く美しい羽は腰の飾り羽です。オスはメスの前で、大きく扇状に立てた飾り羽全体を細かく震わせます。この飾り羽は8月頃全て抜け、10月頃から再び生え始めます。メスは繁殖期になると、単独または数羽のグループで複数のオスのなわばりを訪れ交尾をし、単独で卵を産み雛を育てます。オスの足にはケツメ（蹴爪）があります(図4)。

◇動物園で見られる行動：園内を自由に行動しています。日中はなかよし広場の周辺や動物園入り口付近で日光浴をしていたり、オスが飾り羽を広げ、ディスプレイをしている姿を見ることが出来ます。園内にいくつかある餌場で、餌を食べていたり、土を掘り返して昆虫を探していることもあります。夕方になると手すりや木の上で休みます。



★このワークシートに対するご感想やご意見、またワークシートづくりへのアドバイスをお寄せ下さい。

今後のワークシートづくりの参考とさせていただきます。

どんなに小さな事でも結構です。ぜひ先生方の声をお聞かせ下さい。お待ちしております。

横浜市立野毛山動物園

〒220-0032 横浜市西区老松町 63-10

tel 045-231-1307 fax 045-231-3842

野毛山動物園ワークシート

みよう!きこう!しらべよう!! のげやまどうぶつえん まるごとしり隊!!

しぐさをかんさつし隊!! とりのまき

2005年4月20日発行